

# おらほの病院

92

～あたたかな医療をめざして～

諏訪中央病院 リレーコラム

2年前に移住してきた我が家は、八ヶ岳連峰権現岳の南麓標高1130mにある。今年は降雪が多く、移住してきた人間にとっては洗礼の冬であった。

3月のとある朝、前夜に降った雪はちょうど足首を越える深さ。井富カラ松通りと名の付く坂道を、ゆっくりと下る。この道は時折鹿の群れを見かけるため、慎重に走る。カラマツ林を抜けると突然に南斜面の遙か向こうにすっぽり冠雪した雄大な富士山が見える。外輪山を越えシンメトリックに続く裾野まで、感動的な美しさである。

西に進路を変え、右を見上げれば権現岳の右奥に赤岳の絶巔が間近に迫りまた感激。さらに車を進めると、目前に3000m級の白い壁が。南アルプスの鳳凰三山(地藏ヶ岳、観音岳、薬師岳)と、甲斐駒ヶ岳だ。真っ青な空を背景に真っ白に雪化粧をし、駒ヶ岳の山頂左には神々の力こぶのような摩利支天がそびえる。いや待て、その名峰の奥に、さらに高峰が見おろしているではないか。キラキラと太陽光を反射させる純白三角の山頂を見せるのは31

## 諏訪中央病院

とび た こう すけ  
外科部長 飛田 浩輔



# がんは決して恐ろしい病気ではない

93歳、日本で富士山に次ぐ第2位、南アルプスの主峰北岳だ。八ヶ岳南麓から富士見町、原村と角度を変えて移り変わる八ヶ岳の景色を堪能しながらエコーラインを走ると北アルプスの山々まで見える。諏訪中央病院への通勤は毎日警沢至極、これが私の「おらほの病院」の入职理由の一つだ。

諏訪中央病院は、全国の医師の中ではよく知られている。ここは来院する患者さんを、専門にとらわれることなく修練教育された総合診療医が診療する総合診療科の全国の先駆けである。鎌田實名誉院長の「老若男女すべての患者さんを助けた」という地域医療に対する思想が隅々まで浸透しており若手医師が全国から

第266回 ほろ酔い勉強会

予約不要 入場無料

知らないともったいない!

ご家族、ご友人、ご近所さんもぜひ一緒に!

【講師】  
諏訪中央病院外科部長 飛田浩輔医師

2024 5月30日(木) 14:00~15:30

【会場】  
諏訪中央病院 講堂

ご来院の際はマスク着用をお願いします

諏訪中央病院  
Suwa Central Hospital

5月30日午後2時から諏訪中央病院講堂で行われる「ほろ酔い勉強会」のチラシ。飛田医師が講師を務める

集う。  
ここではどんなに高齢でも認知症でも、どんなに小さい所見でも、とことん診断を極め治療をあきらめない。高齢化が進むこの地では当然がんも見つかる。あまり知られていないが、諏訪中央病院でも実はがん治療を積極的に行っている。私よりも先に入職した4名の外科医を含め、消化器がん手術を大病院で修練してきた。がん薬物療法を行う腫瘍内科医が活躍するのも地域住民にとって安心材料だろう。

日本人の2人に1人がなると言われるがんは音も無く誰にでも近づいてくる。高齢化のこの地でもがん患者は増え続けるはずだ。日本人死因第1位を独走するがん対策は重要だ。まずは30年のがん診療の経験から、がん対策・がんのつきあい方の情報提供を始めようと思う。

最初に申し上げるが、今、がんは決して恐ろしい病気ではない。「知らないともったいない」がんの「新情報」を5月30日のほろ酔い勉強会でお伝えしたい。ご家族はもちろんお友達、近所の方お誘い合わせの上、ぜひご来場ください!

飛田 浩輔 (とびた・こうすけ)  
外科部長。東海大学医学部附属病院にて肝胆膵外科を専攻。約30年間、肝胆膵がん高難度手術を担当し、2023年6月より諏訪中央病院。

次回は6月2日掲載予定  
(題字は鎌田實名誉院長)